

## 高精細4K映像を表示する190V型相当の大画面ビデオウォールシステムがテレビ番組のセットや情報配信ディスプレイとして大活躍。

### 導入の経緯

#### ●多くの人々が利用する交通の要所にオープンスタジオを開設。

岡山県・香川県でRSKテレビおよびRSKラジオの放送事業を展開する山陽放送様は、2014年10月、JR岡山駅構内にオープンスタジオ「RSKエキナカスタジオ『エキスタ6ROCK』」を開設されました。

スタジオがあるJR岡山駅は岡山の玄関口で、山陰・四国方面への連絡口にもなっており、1日に約6.2万人が乗車しています。山陽放送様は番組の収録以外にも、駅を利用する多くの人々にさまざまな情報発信ができる「多目的活用空間」としてオープンスタジオの設置を決定。このスタジオの映像表示装置として、当社製狭額縁液晶ディスプレイ12台で構成したビデオウォールシステムを導入いただきました。

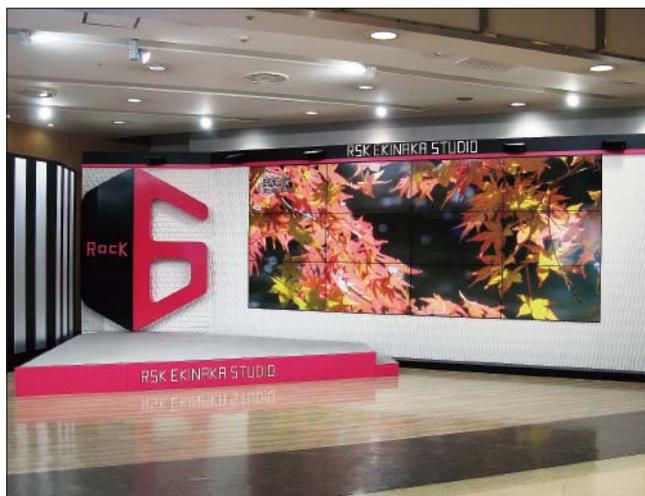
#### ●狭額縁液晶ディスプレイによる大画面ビデオウォールシステムを構築。

新しいオープンスタジオに設置する映像表示装置には、「番組収録時のセット」と「多目的活用空間として情報コンテンツ放映」という2つの用途対応が求められました。さらに人々の目にとまりやすい表示装置として、今回、大画面のビデオウォールシステムを構築することとなりました。

ビデオウォールシステムに使用するディスプレイとして、

- テレビ番組収録時の強い照明を使用しても、画面映り込みを抑える「映り込み低減パネル」採用
- さまざまな位置から映像をクリアに楽しめる広視野角

といったポイントなどが総合的に評価され、12台のTH-55LFV5Jで構築する、大画面190V型相当のビデオウォールシステムを採用いただきました。



▲大画面ビデオウォールと、ビビッドな色使いの巨大ロゴで演出されたオープンスタジオ。テレビ番組の収録がない時には、岡山県の観光訴求コンテンツなどを放映する情報発信空間にもなる。



▲テレビ番組収録時。ロケーションに優れた駅構内のスタジオのため、常に多くのお客様が来場。普段はなかなか見ることができない番組制作の様子を楽しんでいただける。

### ■山陽放送様のプロフィール

●所在地 岡山県岡山市北区丸の内2-1-3 ●URL <http://www.rsk.co.jp/>



同社のアナウンサーが自転車で旅をする「国司憲一郎のリンダRINだ」(毎週水曜日夜7:56～)では、当社のウェアラブルカメラが活躍。



#### 60年以上の長い歴史を持つ地域に根ざした放送局。

1953年にラジオ放送、1958年にはテレビ放送をスタートされた山陽放送様は、JNN準基幹局として、ネットワーク番組を岡山・香川県で放送しています。また、自社制作番組にも注力されており、特にドキュメンタリーは数々の賞を受賞しています。

今回開設されたRSKエキナカスタジオでは、「恋するスマホ女子部」(毎週金曜日深夜0:15～)の公開収録をはじめ、夕方の情報・ニュース番組「イブニング5時」「イブニングニュース」の生中継スタジオとして、さらに、ラジオ番組の公開収録など、さまざまな番組で活用されています。

## システムの紹介

### ●高精細映像を多彩なパターンで表示できるビデオウォールシステム。

RSKエキナカスタジオ「エキスタ6ROCK」には、12台（横列4台×縦列3台）のTH-55LFV5Jで構築したビデオウォールシステムが設置され、運用時間中（6:00～22:00）、さまざまな活用がされています。

<テレビ番組の収録時>

- スタジオセットとして、番組のロゴや背景素材CGを表示
- 番組で使用する取材映像や、スマートフォン画面などの表示

<テレビ番組収録時以外>

- 山陽放送様のテレビ番組や、キャラクターのPV、番組宣伝やイベント告知のコンテンツ放映
- 岡山県の見どころ、名産品など、観光訴求コンテンツ放映

現在、観光訴求コンテンツの一部が4K映像で制作されており、システムの4Kプレーヤーで再生。16:9のアスペクトを維持した165V型相当（3×3面）表示に加え、映像の上下をカットした190V型相当（4×3面）での表示にも対応しています。また、HD映像コンテンツも4Kプレーヤーに保存されて、スケジュールごとに再生されます。

メディアインテグレータでは映像分配が行われます。4KプレーヤーからのDVI映像以外にも、テレビ放送用機器でよく用いられるSDI映像に対応しており、DVI映像として各ディスプレイに送信されます。

### ●テレビ番組収録に適した映り込み低減パネル。

TH-55LFV5Jは、AG処理による映り込み低減パネルを採用。テレビ番組収録時に強い照明を使用しても、画面への映り込みを抑えています。また、上下左右約178°の広視野角IPSパネルを使用しているため、斜め方向からでも鮮明な映像を見ることができます。

## 表示パターン

設置された12台のディスプレイは、それぞれ個別に映像信号が入力されるため、さまざまなパターンで表示が可能。



◀4K映像の上下をカットし、190V型相当の迫力大画面で表示。スタジオ付近を通る人々からの注目も集めやすい。



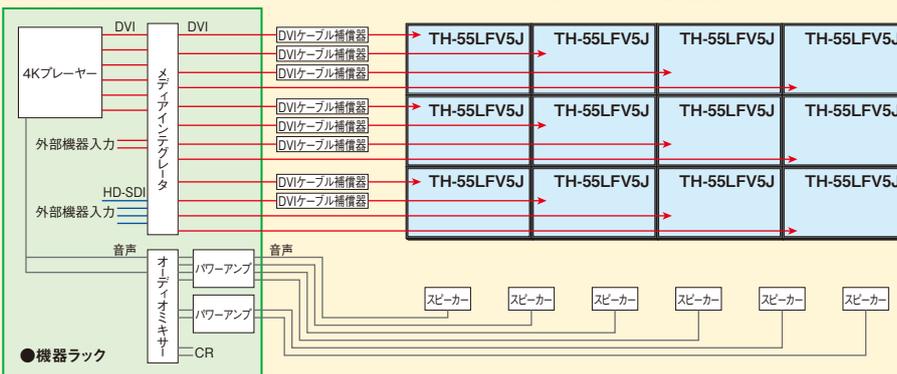
◀16:9アスペクトを維持した3×3面（165V型相当）での4K映像表示。3つのHDコンテンツも同時表示可能。



◀6つのHDコンテンツを同時に表示することで、情報量の多いサインージを実現。



## ■山陽放送様 RSKエキナカスタジオ「エキスタ6ROCK」システム概略図



▲斜め方向からも鮮明な映像を見ることができる広視野角。番組収録などに多くのお客様が集まっても、広い範囲から楽しんでいたける。

## 導入を終えて

今回、取材にご協力いただきました

山陽放送株式会社  
 編成制作局 たねくさ  
 テレビ制作部長 種艸 智和 様(写真)  
 技術局  
 制作技術部長 難波 昭一 様



### ●美しい4K映像表示と使いやすいシステム構成に高評価。

山陽放送の編成制作局 種艸テレビ制作部長様は「RSKエキナカスタジオでは、映像を190V型相当の大画面で表示するため、4K映像とHD映像ではクオリティの違いが歴然とします。そのため、社内・外から『もっと4Kコンテンツを増やして欲しい』『他にも色々な映像を見たい』という声をいただいています」と4K映像の美しさについての反響の大きさをお話いただきました。

さらに「番組ロゴや背景CGを差し替えるだけで手軽にセットチェンジが行えるので、使い勝手が非常によくなっています。導入前には画面への映り込みを心配していましたが、実際には全く気にならないレベルでした」など、テレビ番組内のビデオウォールの活用についても、高く評価をいただきました。